

平成27年第2回いわて復興ウォッチャー調査 自由記載集

I 被災者の生活の回復に関する実感

生活の回復度及び6ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

| 区分 | 職業・所属等 | 年齢別 | 地域 | 性別 | 自由記載（理由） |
|--------|------------|-------|------|----|---|
| 回復した | 地域団体・郵便局関連 | 60歳以上 | 沿岸南部 | 男 | 全ての業において事業が再開されており、それに伴って稼働能力のある方々は就業していて、生活は落ち着いているように見える。 |
| 回復した | 地域団体・郵便局関連 | 39歳以下 | 沿岸南部 | 男 | 住居の安定と皆さんの笑顔を見ていると回復したと感じています。 |
| 回復した | 地域団体・郵便局関連 | 39歳以下 | 沿岸南部 | 女 | 公営住宅への転居（入居）や住宅再建が、進んでいるように感じる。 |
| 回復した | 地域団体・郵便局関連 | 39歳以下 | 沿岸北部 | 男 | 被災者における、住環境及び雇用に関することは回復している。 |
| 回復した | 産業・経済・雇用関連 | 60歳以上 | 沿岸南部 | 女 | 住宅再建してそれぞれ働いている様子です。 |
| 回復した | 産業・経済・雇用関連 | 40歳台 | 沿岸北部 | 男 | 工場の復旧状況 鉄道復旧 |
| 回復した | 産業・経済・雇用関連 | 40歳台 | 沿岸北部 | 女 | 完全に回復したとは言えないのかもしれないが、ある程度回復してきているように感じる。 |
| 回復した | 教育・福祉施設関連 | 50歳台 | 沿岸北部 | 女 | 住宅再建等に向けて経済的に苦しい方も多々いらっしゃると思いますが、「生活する」という点においては、被災前と同程度のレベルには近づいているものと思います。 |
| 回復した | 教育・福祉施設関連 | 50歳台 | 沿岸北部 | 男 | 私の住む地域では高台移転先にはほぼ転居し、仮設住宅に住んでいる方は残り数軒と聞いています。隣町でも移転先の建築が急ピッチで進み、お盆の時期には新しい自宅で御先祖様を迎えられる方々もあり、やっと安らげる生活を迎えられると思うと嬉しくなりますが、一方で雇用はどこの業界も人手不足が大変な状況であり、来年度の高校卒者の就職先も県外志向が強いと感じています。私の事業所でも新規学卒者の求人を出していますが、厳しい状況です。 |
| 回復した | 教育・福祉施設関連 | 50歳台 | 沿岸北部 | 女 | ①高台団地の区画整理も終わり、住宅が建ち始めています。 ②住宅を建てて仮設住宅から引っ越ししたり、公営住宅が完成したので、そこに移ったりしている人も多いです。 |
| やや回復した | 地域団体・郵便局関連 | 60歳以上 | 沿岸南部 | 男 | 災害復興住宅への転居者が多くなり、住環境は回復している様に見えるが、一般の住宅再建がまだまだです。特に鉾ヶ崎地区 |
| やや回復した | 地域団体・郵便局関連 | 60歳以上 | 沿岸南部 | 女 | 一歩先を見つめて生活するようになっている。くよくよしても仕方ないので、考えながら（楽しみ）生活している。 |
| やや回復した | 地域団体・郵便局関連 | 60歳以上 | 沿岸南部 | 女 | 仮設住宅から災害復興住宅へ移った人が増えてきました。まだまだ、自宅再建へ手をつけることができない人も多くいます。戻りたい土地がようやく土盛りが始まったばかりなので、あと2～3年はかかりそう。けれど、被災した小中学校が高台に建設されることになり、工事も始まっているので、子供達も希望の光が感じられているみたいです。 |
| やや回復した | 地域団体・郵便局関連 | 60歳以上 | 沿岸南部 | 男 | 織笠地区の高台造成地区で新築が始まっています。 |
| やや回復した | 地域団体・郵便局関連 | 60歳以上 | 沿岸南部 | 男 | ・高台移転などの土地造成が織笠地区で進んできた。ただし上下水道のライフラインが遅れている。 ・柳沢地区にあっては、被災町営住宅の改修復旧なり、当該団地からも入居世帯が出てきた。 ・設問1に近いぐらい、生活環境が回復し進捗状況が良好になってきた。 |

| 区分 | 職業・所属等 | 年齢別 | 地域 | 性別 | 自由記載（理由） |
|--------|------------|-------|------|----|--|
| やや回復した | 地域団体・郵便局関連 | 60歳以上 | 沿岸南部 | 女 | 皆さんの表情が明るくなり、日常の生活も落ち着いてきたと感じられます。ほとんどの住宅が山手に近い場所にある為、買い物、病院、役場等に行くのに、その都度、交通費が掛かるとの声が多く聞かれます。 |
| やや回復した | 地域団体・郵便局関連 | 60歳以上 | 沿岸南部 | 男 | 自主再建・防集移転による住居の再建が進んだ。災害公営住宅の建築は、今年度、来年度で応急仮設住宅暮らしは当初の70%世帯である。 |
| やや回復した | 地域団体・郵便局関連 | 40歳台 | 沿岸南部 | 女 | 復興住宅が完成し、仮設住宅から転居をする人、高台へ家を建てる人が増えてきているが、まだまだ仮設住まいの人もいて、自分の思い描いていた家を実現することが難しいために長期の仮設暮らしを強いられる人もいる。嵩上げに伴い、被災した場所に盛り土が置かれ、道路もきれいになり、車で通行しやすくなった。 |
| やや回復した | 地域団体・郵便局関連 | 39歳以下 | 沿岸南部 | 男 | 自宅再建されている人や復興住宅への入居等が見られるようになってきているため。 |
| やや回復した | 地域団体・郵便局関連 | 39歳以下 | 沿岸南部 | 男 | 店も増えてきて、雇用が多くなってきたと思う。 |
| やや回復した | 地域団体・郵便局関連 | 39歳以下 | 沿岸南部 | 女 | 復興住宅が完成して入居された方が多い。少し落ち着いたという方が多い中、街が落ち着いたら家を建てたいという方がいて、復興住宅入居で、完全に落ち着いたとはいえないのだなと思った。 |
| やや回復した | 地域団体・郵便局関連 | 60歳以上 | 沿岸北部 | 男 | 震災公営住宅はすでに完成し個人住宅の新築が進み、年内にはほとんどの住宅が完成する。 |
| やや回復した | 地域団体・郵便局関連 | 60歳以上 | 沿岸北部 | 男 | 災害公営住宅もほぼ完成し、土地区画整理事業も進み、高台の造成も終わり、急ピッチで住宅の再建が始まっている。 |
| やや回復した | 地域団体・郵便局関連 | 50歳台 | 沿岸北部 | 女 | 新しい家に住み出した人が増えている |
| やや回復した | 地域団体・郵便局関連 | 40歳台 | 沿岸北部 | 男 | 住宅の再建が進み、仮設住宅から新居へ引っ越す方が増えている。 |
| やや回復した | 地域団体・郵便局関連 | 40歳台 | 沿岸北部 | 男 | 新卒高校求人増など雇用回復のきざしが見える。 |
| やや回復した | 地域団体・郵便局関連 | 39歳以下 | 沿岸北部 | 男 | 市場等の復旧が進んでいない。生活の方はやや回復したと感じられるが、港の復旧が進んでいないので仕事（漁業）の方がまだまだ。 |
| やや回復した | 地域団体・郵便局関連 | 50歳台 | 沿岸南部 | 女 | 災害公営住宅団地が次々に完成し、住民の移動が進んでいる。浸水域の盛土作業が日に日に進んでいるのがわかり、まちづくりの活動も各地活発化してきた。 |
| やや回復した | 産業・経済・雇用関連 | 60歳以上 | 沿岸南部 | 男 | やや回復としたのは、まだ仮設住宅で暮らしている人が多く、震災前の状態に戻ったとは言えない事から |
| やや回復した | 産業・経済・雇用関連 | 50歳台 | 沿岸南部 | 男 | ・復興公営住宅が数棟完成し、仮設住宅から移り住む例が見られるため ・一方でその状況がまだ100%でないのも事実としてある。 ・災害復興住宅融資（住宅支援機構）や、民間住宅ローンを利用し自宅再建される方が、まだまだいらっしゃる。 |
| やや回復した | 産業・経済・雇用関連 | 50歳台 | 沿岸南部 | 男 | 住宅建築や住宅ローンの話が聞こえるようになってきており、目標が現実的になり、生活に張り合いが出ている者が増加。 |
| やや回復した | 産業・経済・雇用関連 | 40歳台 | 沿岸南部 | 女 | 災害公営住宅が完成し、生活感が見られるようになってきたので、進んできたと感じるようになった。 |
| やや回復した | 産業・経済・雇用関連 | 40歳台 | 沿岸南部 | 男 | どこを見ても工事は進んでいるし、トラックの数が多い。 |
| やや回復した | 産業・経済・雇用関連 | 40歳台 | 沿岸南部 | 男 | 高台移転の工事が着実に進んでいる。 |
| やや回復した | 産業・経済・雇用関連 | 40歳台 | 沿岸南部 | 女 | 高台の区画整理、公営住宅が進んでいるのを見ると、待っている人達も安心して生活をしている様に見えます。 |
| やや回復した | 産業・経済・雇用関連 | 39歳以下 | 沿岸南部 | 男 | 自力再建して、仮設から新居に移る人が増えてきた。 |
| やや回復した | 産業・経済・雇用関連 | 39歳以下 | 沿岸南部 | 男 | 仮設商店街が無くなり、新たに被災地に商店街として新設した。防潮堤の工事が進み形が見えて来ている所もある。 |

| 区分 | 職業・所属等 | 年齢別 | 地域 | 性別 | 自由記載（理由） |
|----------|------------|-------|------|----|---|
| やや回復した | 産業・経済・雇用関連 | 60歳以上 | 沿岸北部 | 男 | 野田村前浜の防潮堤工事が日々進んでいることが感じられます。 |
| やや回復した | 産業・経済・雇用関連 | 50歳台 | 沿岸北部 | 男 | 土地区画整理事業等が進み、従前地（換地後）や高台移転地での住宅再建も進んでおり、目に見える形での住環境の再建は進んでいる。しかし全体的にはまだ数年は掛かるものと思われ、コミュニティの確立までは至っていない。反面いまだに仮設住宅での生活を余儀なくされている方々も多いことから、地域住民全体を考えれば、まだゴール地点は見えないと思われる。 |
| やや回復した | 産業・経済・雇用関連 | 50歳台 | 沿岸北部 | 男 | 移転地の造成が終り、4月から住宅が建ち始めた。 |
| やや回復した | 産業・経済・雇用関連 | 50歳台 | 沿岸北部 | 男 | 自宅再建の家がどんどん建ってきた。新居に引っ越した人も出始めている。 |
| やや回復した | 教育・福祉施設関連 | 50歳台 | 沿岸南部 | 女 | <ul style="list-style-type: none"> ・仮設住宅から出て、新しい家で生活する人が増えた。 ・被災前に行っていた行事（祭りなど）を復活させようと活動したり、新たなイベントを企画しようとしたりする人がいる。 ・しかし、生活水準は、決して高いとは言えず、文化面での回復・発展は遅れている。 ・大人達（子育て世代）に元気がないと感じる。心に余裕のない中での子育てで、子供が寂しそうだ。もっと元気はつらつな地域になるといい。 |
| やや回復した | 教育・福祉施設関連 | 50歳台 | 沿岸南部 | 男 | <ul style="list-style-type: none"> ・津軽石のアパートの完成が近い ・住宅建築が進んでいる |
| やや回復した | 教育・福祉施設関連 | 50歳台 | 沿岸南部 | 女 | 住宅の再建、公営住宅への入居が進み、安定した暮らしぶりになっていると感じます。 |
| やや回復した | 教育・福祉施設関連 | 40歳台 | 沿岸南部 | 男 | 災害公営住宅や集団移転の団地などが次々と完成しているため。 |
| やや回復した | 教育・福祉施設関連 | 40歳台 | 沿岸南部 | 女 | 住宅を再建している人や、災害復興住宅が少しずつ完成し、やや回復している気がする。 |
| やや回復した | 教育・福祉施設関連 | 40歳台 | 沿岸南部 | 女 | <ul style="list-style-type: none"> ・新しい家がだいぶできてきた。 ・小学校の校庭の問題を早く解消してほしい。 |
| やや回復した | 教育・福祉施設関連 | 39歳以下 | 沿岸南部 | 男 | 住宅を再建することが出来た、公営住宅に入居出来たという話が聞こえてくるようになりました。一方、仮設住宅を出たくても出られない方々がまだまだ多いようです。一日も早く落ち着いた住環境で生活出来るよう支援をお願いします。 |
| やや回復した | 教育・福祉施設関連 | 50歳台 | 沿岸北部 | 女 | <ul style="list-style-type: none"> ・公営住宅にみんな移り住み、ようやく落ち着いた生活ができるようになったと思われる。 ・自力で自宅を再建なさった方々の暮らしぶりも落ち着いてきたかと思われます。 |
| やや回復した | 教育・福祉施設関連 | 50歳台 | 沿岸北部 | 男 | 高台団地の造成が終了し、次々に住宅が建設中である。完成すれば、かなりの方々が仮設を出ていくことができると思います。 |
| やや回復した | 教育・福祉施設関連 | 50歳台 | 沿岸北部 | 女 | 震災で、なくなってしまった町並が整理され、以前にはなかった新しい道路ができたから。 |
| やや回復した | 教育・福祉施設関連 | 50歳台 | 沿岸北部 | 男 | 住宅を再建し仮設住宅を出る人が多くなってきた。復興道路の工事も進んでいる。 |
| やや回復した | 教育・福祉施設関連 | 40歳台 | 沿岸北部 | 女 | 住宅を新築している方が近隣の市町村で増えている。 |
| どちらも言えない | 地域団体・郵便局関連 | 60歳以上 | 沿岸南部 | 男 | 住居を再建し、仮設住宅を出た方は回復したと思えますが、まだ仮設暮らしの高齢者の方々の生活は回復していない。被災前は、自宅の付近で野菜などを作り、自給自足の生活をしていた方が多い。 |
| どちらも言えない | 地域団体・郵便局関連 | 60歳以上 | 沿岸南部 | 男 | 自宅を再建する人が増え、地域内に、日常の生活に必要な買い物出来る商店も増え、生活環境は良くなりました。 |
| どちらも言えない | 地域団体・郵便局関連 | 40歳台 | 沿岸南部 | 男 | 復興公営住宅に移る方がいる一方、仮設に残っている方もいる。全体的に見れば、回復に向かっているのだろうが、何とも言えない状況。 |

| 区分 | 職業・所属等 | 年齢別 | 地域 | 性別 | 自由記載（理由） |
|-----------|------------|-------|------|----|--|
| どちらとも言えない | 地域団体・郵便局関連 | 40歳台 | 沿岸南部 | 男 | 高台移転に関する造成工事もあちらこちらで進んでおり、場所によっては、新宅も完成し住み始めている方々もいる。が、高齢者だけの世帯は経済的に難しいのか、仮設に残っている世帯ではそのような方々が目立ってきているのも事実。将来的な展望を持ってない人たちの気持ちは計り知れませんが、表面的な形式だけのものではなく、深く掘り下げるような心のケア・フォローといったものが必要。 |
| どちらとも言えない | 地域団体・郵便局関連 | 40歳台 | 沿岸南部 | 男 | 公営住宅等の建設が進み、少しづつ仮設にも空きが出てはきているが、かと言って格段の変化はまだ見られていない気がします。 |
| どちらとも言えない | 地域団体・郵便局関連 | 39歳以下 | 沿岸南部 | 男 | 目に見えない課題。近隣トラブル、不仲、心の問題、あきらめ。 |
| どちらとも言えない | 地域団体・郵便局関連 | 60歳以上 | 沿岸北部 | 男 | 消費税の上昇により生活は苦しくなっている。高台団地の造成も終り、公営住宅の建設が進んでいる。来年4月の入居に仮設住宅の住民の励みになっている。 |
| どちらとも言えない | 産業・経済・雇用関連 | 50歳台 | 沿岸南部 | 男 | (1) 以前は食料品を買うのも困難（近隣にスーパーが無かった）だったが、今では全く不自由を感じない。 (2) この地区は復興のスピードが早かった為か、最近の回復具合ということだと、それほど進んだとは言えない。（震災から短期間で回復、最近土地の嵩上げ待ちの状況でここ6ヵ月に限れば進捗はそれほど無い） |
| どちらとも言えない | 産業・経済・雇用関連 | 50歳台 | 沿岸南部 | 男 | 公営災害住宅や住宅再建のための高台が一部完成したこと、やや回復した感がありましたが、実際のところは入居率等にバラつきがあり、被災者の日常生活に対する様々な不安が背景にあると感じます。 |
| どちらとも言えない | 産業・経済・雇用関連 | 50歳台 | 沿岸南部 | 男 | 自宅再建はいくらか進んでいるようだが、高台のほうがまだまだ先のような。 |
| どちらとも言えない | 産業・経済・雇用関連 | 50歳台 | 沿岸南部 | 男 | 自宅の再建で仮設を出る人、高台の工事がまもなく完成予定が近くなり、自宅の再建に向けて計画を進めている人がいる一方で、いまだに仮設住宅より出る予定が立たない人がいるため。仕事のほうには被災前に戻りつつあるが、いまだ安定した収入にはなっていないのと、漁港や道路が復旧していないため、生活するのにいまだに不便であるところが海側に多いため。 |
| どちらとも言えない | 産業・経済・雇用関連 | 40歳台 | 沿岸北部 | 女 | 住宅・ライフラインなど、表面的には整備されてきたが、心情、精神的安定からの回復はまだだと思う。 |
| どちらとも言えない | 産業・経済・雇用関連 | 39歳以下 | 沿岸北部 | 男 | 業種によって回復具合は様々に感じるが、生活は落ち着き、住環境も整ってきた。しかし、以前（震災前）と比較するケースが多く、未だ不平不満の声が聞こえてくる。 |
| どちらとも言えない | 教育・福祉施設関連 | 50歳台 | 沿岸南部 | 男 | 復興予算が削減される心配があり、生活に影響が出てくると予想している被災者がいる。 |
| どちらとも言えない | 教育・福祉施設関連 | 50歳台 | 沿岸南部 | 女 | 個人差はあるものの、一歩ずつでも進んでいるように思う。しかし、人口の流出があり、子どもの数の減少もさげられません。生活の回復に何かしら影響があると思います。 |
| どちらとも言えない | 教育・福祉施設関連 | 50歳台 | 沿岸南部 | 男 | 仮設住宅に住んでいる方々の中で、再建の見通しが諸事情のため進んでいないという方が目につきます。中には、平成30年まで先延ばしで再建できない方の話を聞くと、気が遠くなります。この町に住みついて仕事をとると、なかなか現実には厳しいと思います。 |
| どちらとも言えない | 教育・福祉施設関連 | 50歳台 | 沿岸南部 | 女 | 自力再建した方、しようとしている方と家庭事情からできない方、してもしようがないと思う方など、格差が大きいと感じる。 |
| どちらとも言えない | 教育・福祉施設関連 | 40歳台 | 沿岸南部 | 女 | 住宅を再建できている家庭もあるが、依然として、見通しをまだ持っていない家庭もあるように思える。 |
| どちらとも言えない | 教育・福祉施設関連 | 39歳以下 | 沿岸南部 | 女 | 災害復興住宅がたくさん完成して、仮設に住んでいた人たちが入居するようになってきている。そこが最終的目標（自分の家と言える場所に住めること）だったはずなのに、お金が発生するようになったから生活が苦しいとか、仮設で仲良くなった近所の方とまたバラバラになって、コミュニティーをまた作らなければならないという問題も発生していると聞く。そう思うと、生活が回復したかどうかと聞かれると難しい。 |
| どちらとも言えない | 教育・福祉施設関連 | 50歳台 | 沿岸北部 | 女 | (1) 三陸沿岸道路の整備は目に見える形で進んでいる。道路整備や港湾整備等ハード面での復興は以前より進んでいる。一方で、若年層の地元離れが目につくということは、地元企業では将来の展望がみられないということか。将来への不安が募る。 (2) 若年層の地元離れが著しいせいか、街そのものに活気がみられない。住宅の新築が以前より増してきたように思えることから、少しは被災者の生活に明るい兆しが見られてきたように思える。 |

| 区分 | 職業・所属等 | 年齢別 | 地域 | 性別 | 自由記載（理由） |
|----------------|------------|-------|------|----|--|
| どちらとも 言えない | 教育・福祉施設関連 | 40歳台 | 沿岸北部 | 女 | 被災直後に比べると、震災前の生活に近づいてきてはいるが、震災前と同じにはならないと思うので。 |
| どちらとも 言えない | 教育・福祉施設関連 | 40歳台 | 沿岸北部 | 女 | (1) 住宅に移り住み、落ち着いて生活されているように感じます。 (2) ここ6カ月間は、あまり大きく変化がないように感じます。 |
| あまり 回復していない | 地域団体・郵便局関連 | 60歳以上 | 沿岸南部 | 男 | 平成26年8月調査の回答と同じである。 |
| あまり 回復していない | 地域団体・郵便局関連 | 60歳以上 | 沿岸南部 | 男 | 盛土、整地等に反対している住民がいる。それぞれ事情があるだろうが、そのために工事が遅れている様に見受けられる。将来の為に印を押し、早い復興を願っている者にとっては迷惑な事だと思う。 |
| あまり 回復していない | 地域団体・郵便局関連 | 60歳以上 | 沿岸南部 | 女 | ①区画整理の仮換地指定がまだ示されず、広さ、土地の形等が不明のため、家の設計計画が出来ない。なかば自宅再建計画もまだ3年位かかるのではないかと、希望が持てない（私自身） ②仮設住宅住民の様子は、高台移転や災害公営住宅入居の仮申し込みは済んだが、まだ土地の造成も出来ていないので、こちらも「まだまだだね」が会話の中心。 ③現在自宅再建中が一世帯。今までに5世帯が自宅再建済。（26世帯中） |
| あまり 回復していない | 地域団体・郵便局関連 | 40歳台 | 沿岸南部 | 男 | 特に変わらない。 |
| あまり 回復していない | 産業・経済・雇用関連 | 50歳台 | 沿岸南部 | 男 | 〈住環境〉 ・未だ仮設暮らしの方が多く、高台移転も一部にとどまっている。 ・中心部の商店街も仮設による営業のみである。 ・生活道路も工事の関係で不自由な所があり、解消にはある程度の時間を要する。 〈雇用〉 どの業種も人手不足に悩んでおり、一定程度の雇用創出はあるものの、依然として、町外へ流出する若者が多く、ミスマッチとなっている。 |
| あまり 回復していない | 産業・経済・雇用関連 | 50歳台 | 沿岸南部 | 男 | 公営住宅の工事が期限内に進んでおらず一棟も建っていない！！ |
| あまり 回復していない | 産業・経済・雇用関連 | 40歳台 | 沿岸南部 | 男 | 先にできた公営住宅はほぼ満室になっているようであるが、今後できる公営住宅も満室となり、次々に新たな住居、新たなステージへと進めるようになればいいと思うが、仕事も含めて、次のステップへと進むための総合的なスピードは、人それぞれと思う。次へのステップへと進もうと決断できない何かがある以上、まだ回復してきたとは言えないのではないかと！ |
| あまり 回復していない | 産業・経済・雇用関連 | 40歳台 | 沿岸南部 | 男 | ようやく復興の工事が進んできているように感じる。住宅の再建はまだまだ先ですが。 |
| あまり 回復していない | 教育・福祉施設関連 | 50歳台 | 沿岸南部 | 女 | ・50代で失職。なかなか思うような仕事に就けず、収入減で厳しい生活を強いられている。 ・資金のある人は、自宅を再建したり、復興住宅に入居。復興住宅に入居するにはお金がかかる。仮設は無料。行先が決まらない人もいる。 ・仮設に住んでいた担当高齢者のうち、2名は亡くなり、もう1名は入院中。寝たきりであり、経管栄養となる見込み。いかに強いストレスを感じたかと改めて思う。高齢者には辛い仮設暮らしである。 |
| あまり 回復していない | 教育・福祉施設関連 | 39歳以下 | 沿岸南部 | 男 | 個々で考えれば、家を建てる人が増えてきているが、区画整理対象外の地域への居住が偏り、整備内の自分持ちの土地に家を建てようと考えている人は待機状態にあり、その数は以前と変わらない感じがする。 |
| 回復していない | 地域団体・郵便局関連 | 60歳以上 | 沿岸南部 | 男 | 被災者の生活について被災前の地所に自立再建の予定でしたが、確実な年月が見えませんが他地域に地所を購入し自立再建致しました。この様な方々が多数いると思います。自立再建された方々にも仮設住宅で生活している方々と同様、県・市の目を向けて下さる様お願い致します。 |
| 回復していない | 地域団体・郵便局関連 | 50歳台 | 沿岸南部 | 男 | 相変わらず、仮設住宅住まいがほとんどである。仕事はある様なので、経済的には、大丈夫に見えるが、一時的な雇用も多いと思うので、数年後を考えると回復とは言えないと思う。 |
| 回復していない | 教育・福祉施設関連 | 50歳台 | 沿岸南部 | 男 | 最近の生活自体は、変化がないように感じる。ただ、家がかんりの軒数で建てられており、回復に向かっている様子が見られる。 |
| わからない | 産業・経済・雇用関連 | 50歳台 | 沿岸北部 | 女 | 被災者の方と接することがないため。 |

II 地域経済の回復に関する実感

地域経済の回復度及び6ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

| 区分 | 職業・所属等 | 年齢別 | 地域 | 性別 | 自由記載（理由） |
|--------|------------|-------|------|----|--|
| 回復した | 地域団体・郵便局関連 | 60歳以上 | 沿岸南部 | 男 | 殆どが仮設での事業再開であるが、事業規模等は被災前に近づいている。これから本設に向けて正念場となります。支援はこれからが重要となります。 |
| 回復した | 地域団体・郵便局関連 | 39歳以下 | 沿岸南部 | 女 | 周囲を見ると震災前の仕事と同じ職業についているか、新たな仕事についており、会社の再建準備をしている様子は見られなくなった。 |
| 回復した | 産業・経済・雇用関連 | 60歳以上 | 沿岸南部 | 女 | 浜の仕事も回復して来ました。ただウニ漁はよくないようです。 |
| 回復した | 産業・経済・雇用関連 | 40歳台 | 沿岸南部 | 男 | 漁業（養殖）は、震災前の状況に戻ってきた。高齢化による労働者不足が一番の問題。 |
| 回復した | 産業・経済・雇用関連 | 39歳以下 | 沿岸南部 | 男 | 養殖施設も復旧し、生産量も被災前と同じくらいの水準になった。 |
| 回復した | 教育・福祉施設関連 | 50歳台 | 沿岸北部 | 女 | 地域経済の復興も日々進んではいると感じます。被災地支援のみに頼らず、地域住民事業者が今後の地域経済の発展に向けた将来的なビジョンを持っていくべきだと考えます。 |
| 回復した | 教育・福祉施設関連 | 50歳台 | 沿岸北部 | 男 | 農林水産業は、被災前とほぼ同じ位まで回復したと感じますが、工場関係は再建しても職員を確保できず、閉鎖している事業所もあると聞き、今後、産業の衰退による第二の人口流出が生じる事態があると、更なる地域経済の落ち込みに繋がるのではと懸念します。 |
| 回復した | 教育・福祉施設関連 | 50歳台 | 沿岸北部 | 女 | 農業、漁業も震災前に近いくらいに回復しているように思います。 |
| やや回復した | 地域団体・郵便局関連 | 50歳台 | 沿岸南部 | 女 | 個人店舗があちこちで本設の再建がなされてきた。起業に向けて考えたり、行動を起こしている住民が増えてきた。既存企業においても、新商品や新サービスへの模索、また販路拡大への動きが活発になってきた。 |
| やや回復した | 地域団体・郵便局関連 | 60歳以上 | 沿岸南部 | 男 | スーパーなどの特売日は、駐車場のみではなく、近くの道路まで車があふれている。 |
| やや回復した | 地域団体・郵便局関連 | 60歳以上 | 沿岸南部 | 男 | 地域の水産関係は活気が有り、経済面も良い方向に進んで来ている様です。 |
| やや回復した | 地域団体・郵便局関連 | 60歳以上 | 沿岸南部 | 女 | 釜石の橋野の世界遺産が決まったことで、人が訪れるようになり、活気づいてきているようです。復興関係の仕事でも増えているので、飲食店や宿泊するところは混んでいます。ワールドカップもあるので、私のいた鶴住居町は、ようやく盛り土が始まったばかりですが、今から急ピッチで進んでいくのではないかと期待しています。 |
| やや回復した | 地域団体・郵便局関連 | 60歳以上 | 沿岸南部 | 男 | ・商業市街地の整備が進んできている。 ・これに伴って、小売商店集合型商店街建築の整備が行われているが、度重なる移転で店舗を閉じる業者もあることは淋しい。 |
| やや回復した | 地域団体・郵便局関連 | 60歳以上 | 沿岸南部 | 男 | 漁業に関する生産体制は、回復したと思われます。又、高齢者の漁業からの離職が多く見受けられ、地域経済の活性化の為、漁業に従事する担い手養成を考える必要があります。 |
| やや回復した | 地域団体・郵便局関連 | 60歳以上 | 沿岸南部 | 男 | 被災した田のほ場整備が進んでいます。今年度より整備が完了した（全体の50%位）土地で、稲作が行われています。 |
| やや回復した | 地域団体・郵便局関連 | 60歳以上 | 沿岸南部 | 女 | 私共の町は、高台に広い土地がなく、とりあえず自分達の被災した住宅跡地を提供し、仮設店舗で営業しておりましたが、嵩上げが必要なため、別の被災した宅地にならない低地で、工事に支障のない場所に5月に移転し、集合店舗地で営業しております。漁業者は、震災を感じさせないほど大きな力で前向きに進み、養殖等も育ちが良く業績も上がっているようです。 |
| やや回復した | 地域団体・郵便局関連 | 60歳以上 | 沿岸南部 | 男 | 水産では養殖漁業、漁船漁業は大きく進んだ。農地（浸水地域）は復旧していない。原木しいたけの生産も回復していない。被災していない水田、畑は飯米・自家消費用だが生産は回復した。 |

| 区分 | 職業・所属等 | 年齢別 | 地域 | 性別 | 自由記載（理由） |
|-----------|------------|-------|------|----|---|
| やや回復した | 地域団体・郵便局関連 | 39歳以下 | 沿岸南部 | 男 | 水産物等の商品が店に多く並ぶようになったと感じる。 |
| やや回復した | 地域団体・郵便局関連 | 60歳以上 | 沿岸北部 | 男 | 漁業については漁獲高が上がっているように見えるが、農業に関しては高齢化と後継者不足で特に水田の作付け面積が減少傾向にある。 |
| やや回復した | 地域団体・郵便局関連 | 60歳以上 | 沿岸北部 | 男 | 公営住宅・自立再建等、建設業は盛んに工事を行っているが、残念ながら地元業者より近隣及び遠方の業者等が多数参入しており、地元業者には。 |
| やや回復した | 地域団体・郵便局関連 | 39歳以下 | 沿岸北部 | 男 | 農林水産業（特に漁業）については、震災前と比較して、漁獲量について、8割程まで回復したとの事。 |
| やや回復した | 産業・経済・雇用関連 | 60歳以上 | 沿岸南部 | 男 | 経済状況は、やはり売上が震災前の水準に達している企業はまだ少数と感じている。（よさそうに思える所でも7～8割のようである） |
| やや回復した | 産業・経済・雇用関連 | 50歳台 | 沿岸南部 | 男 | <ul style="list-style-type: none"> ・水産業の工場再建、事業再開により、地域経済が動き出した。業種によっては震災前後でビジネスモデルの転換に成功し、従来を上回る業況になった事業者もある。 ・一方で、販路が戻らず苦戦、或いは再生計画の進捗が芳しくない事業者もあると見聞きする。 ・再建場所や移転先がまちづくりと相まって、やっと道筋が見えてきた方々もいて、道半ば本格復興はまだこれからだと思う。 |
| やや回復した | 産業・経済・雇用関連 | 40歳台 | 沿岸南部 | 男 | 漁業の復興は回復し進んでいるが、100%ではないと思う。 |
| やや回復した | 産業・経済・雇用関連 | 39歳以下 | 沿岸南部 | 男 | 農地は基盤整備も進み、耕作も始まっているが、漁港に行く道路はまだ仮設の状態です。工事はしているが進まない。 |
| やや回復した | 産業・経済・雇用関連 | 50歳台 | 沿岸北部 | 男 | 漁港整備がもう少しであるが、ほぼ完了している。 |
| やや回復した | 産業・経済・雇用関連 | 50歳台 | 沿岸北部 | 男 | 港の整備が進み、仕事がやりやすくなった。 |
| やや回復した | 産業・経済・雇用関連 | 40歳台 | 沿岸北部 | 男 | 復旧進捗率は他の地域に比べ高いように感じられる。 |
| やや回復した | 教育・福祉施設関連 | 50歳台 | 沿岸南部 | 男 | 地域経済は店舗が元の場所に新築されたり、新たな商業施設の計画が発表されたりと経済面では回復してきている。しかし、地元の永続的な企業は水産業を除いてまだまだ十分ではない。道路網、鉄道の計画は順調に進んでいるようだが、企業誘致等確かな歩みがなければ最終的な復興は成し得ないと思う。 |
| やや回復した | 教育・福祉施設関連 | 50歳台 | 沿岸南部 | 女 | <ul style="list-style-type: none"> ・水産業、水産加工業に復活の兆しがある。 ・加工場が新しく建設されてきた。 ・養殖ワカメやホヤ、ホタテ等が被災前のように店頭に並び、売れている。 ・しかし、漁業や水産業に従事する若者がいないことは、深刻な問題だ。 |
| やや回復した | 教育・福祉施設関連 | 50歳台 | 沿岸南部 | 男 | <ul style="list-style-type: none"> ・管内の求人が多い。 ・開港400年の事業で活性化を図っている。 |
| やや回復した | 教育・福祉施設関連 | 50歳台 | 沿岸南部 | 女 | 自宅近くを見渡せば、自宅の再建、浜作業場の建設の様子が見られます。震災前に戻りつつあることを実感できます。 |
| やや回復した | 教育・福祉施設関連 | 39歳以下 | 沿岸南部 | 男 | 活気が戻ってきている様子は感じられますが、大型商業施設の影響で、被災した小売店の状況はどのようになっているのでしょうか？ |
| やや回復した | 教育・福祉施設関連 | 50歳台 | 沿岸北部 | 女 | 業種ごとに差はあるものの、海の仕事をしている方々にゆとりがでてきたような気がします。 |
| やや回復した | 教育・福祉施設関連 | 50歳台 | 沿岸北部 | 男 | 農業はほ場整備、漁業は施設の整備が進み、実際のもうけは出ているかはわかりませんが、今後に希望を持って進んでいる感があります。 |
| やや回復した | 教育・福祉施設関連 | 50歳台 | 沿岸北部 | 女 | 被災して取り壊しになった銀行の店舗が新築されたから。 |
| どちらとも言えない | 地域団体・郵便局関連 | 60歳以上 | 沿岸南部 | 女 | プレミアム商品券の販売があったが、季節の行事（お盆、お正月）を見込み購入したが、普段の生活では「今、本当に必要なものか」「今、これを食べないと死ぬか？」と自問自答し、自宅再建に向けて、質素な生活を送っている。 |

| 区分 | 職業・所属等 | 年齢別 | 地域 | 性別 | 自由記載（理由） |
|-----------|------------|-------|------|----|--|
| どちらとも言えない | 地域団体・郵便局関連 | 50歳台 | 沿岸南部 | 男 | 農林水産業に対する補助は手厚いと感じる。復興には大きな力となっていると思う。あと5年くらい継続してもらいたい。 |
| どちらとも言えない | 地域団体・郵便局関連 | 40歳台 | 沿岸南部 | 男 | 相変わらず土建関係ばかりが目立っている気がする。復興事業が終わったあとのビジョンが見えない。 |
| どちらとも言えない | 地域団体・郵便局関連 | 40歳台 | 沿岸南部 | 男 | 大型スーパーやコンビニ等にはぎわいを見せており、個人商店も飲食業に関しては回復しているように見えます。最近倒産した企業もあるので、経済に関してはかたよっている感じがします。 |
| どちらとも言えない | 地域団体・郵便局関連 | 40歳台 | 沿岸南部 | 女 | 震災直後よりは、ゆるやかになってきている気がする。 |
| どちらとも言えない | 地域団体・郵便局関連 | 39歳以下 | 沿岸南部 | 男 | 個々の努力を強く感じていますが、回復方向へ進んでいるとは思いますが、以前程ではないと思います。 |
| どちらとも言えない | 地域団体・郵便局関連 | 39歳以下 | 沿岸南部 | 男 | 復興作業工事が行われており、他県の車や人は多数見受けるが、地元の人の生活が潤っているとは感じられない。 |
| どちらとも言えない | 地域団体・郵便局関連 | 39歳以下 | 沿岸南部 | 女 | 特に変わった感じはないが、まだ工事関係者など多くの仕事で宮古に住んでいる方は多いため、その方々のおかげで活気づいてみえるところがある。本当の地域経済がどうなっているかはもう少し先に見えてくるのかもしれない。 |
| どちらとも言えない | 地域団体・郵便局関連 | 60歳以上 | 沿岸北部 | 男 | ほ場整備も進み、震災後、初めての田植えもなされた。又、漁業も震災前に近づく程回復しているように思われる。一方、商業者を取り巻く状況は年々厳しさを増していると思われる。 |
| どちらとも言えない | 地域団体・郵便局関連 | 40歳台 | 沿岸北部 | 男 | 建設関係は復興工事で回復していると思うが、他の業種は変化がないように思われる。 |
| どちらとも言えない | 地域団体・郵便局関連 | 40歳台 | 沿岸北部 | 男 | 有効求人倍率が良くない。 |
| どちらとも言えない | 産業・経済・雇用関連 | 50歳台 | 沿岸南部 | 男 | (1) 地域経済の回復については、特に建設業が繁忙で、回復というより大きく進展したと言える。 (2) 既に回復済みであり、最近では前進も後退も無い。 |
| どちらとも言えない | 産業・経済・雇用関連 | 50歳台 | 沿岸南部 | 男 | 水産加工業や宿泊業の設備復旧は進みましたが、仮設営業が大半を占める小売業、飲食業については本設復旧の時期が明確ではなく、また、課題も多いため、多くの仮設営業事業者が将来について悩み、不安を抱いていると感じます。 |
| どちらとも言えない | 産業・経済・雇用関連 | 50歳台 | 沿岸南部 | 男 | ・復興需要により、建設業を中心に業況は回復しており、それに従事する町外からの作業員増もあって、飲食関係も概ね良好である。 ・一方、商業は、未だ仮設での営業が多く回復していない。 ・水産加工業は、従業員の高齢化による退職を補充できなく、国外（中国、ベトナム）より研修生を迎えているが、必要人数に達していない。その影響で、受注はあるが、生産・加工体制が整わないため、断っているケースもあり機会を逸している。工場等設備は、グループ補助金にて再建済み。 |
| どちらとも言えない | 産業・経済・雇用関連 | 50歳台 | 沿岸南部 | 男 | 養殖施設、作業場は完成しているが水揚げが少ない。販売経路の縮小で金額がのびない。 |
| どちらとも言えない | 産業・経済・雇用関連 | 50歳台 | 沿岸南部 | 男 | 地域経済としては、ハード面でいろいろな助成により建物は回復して来たように見えるけど人口は減っている。復興中であり本当の意味での経済ではないと思う。復興工事がすべて終わらない事には地域経済の回復については進んでいると思えない。現在は一過性の経済で潤っているところがあるので、今後復興が終了したときにどうするべきか考える必要があると思う。 |
| どちらとも言えない | 産業・経済・雇用関連 | 50歳台 | 沿岸南部 | 男 | 一部業種は回復したが、若者の移住が多く、中高年しか残っていない状況が見える。若者の肉体労働に対する嫌悪感が著しい。正社員雇用が少なく、将来に不安を感じている者が多い。 |
| どちらとも言えない | 産業・経済・雇用関連 | 40歳台 | 沿岸南部 | 女 | 半年前を思い出してみても、今とほとんど変わらないように感じます。求人に関しても相変わらずのようで、人を探している企業が多く見られるようです。 |
| どちらとも言えない | 産業・経済・雇用関連 | 40歳台 | 沿岸南部 | 女 | 水産関係はほぼ元に戻っている様ですが、工場などはまだ進んでおらず、雇用の企業が進まないかぎり、人口減少が心配になってくる。 |

| 区分 | 職業・所属等 | 年齢別 | 地域 | 性別 | 自由記載（理由） |
|---------------|------------|-------|------|----|---|
| どちらとも 言えない | 産業・経済・雇用関連 | 40歳台 | 沿岸南部 | 男 | <ul style="list-style-type: none"> ・「復旧」と言う事であれば、パーセンテージで示されると思うが、水利の運用と質的な改良では、年数が掛かると思う。高台の自然水利を利用しなければ、満量とはならない部分が高台造成住宅工事の影響で、水利不足、水質悪化等運用面で対応が繁雑となり経費が増大している等、有る様に聞こえてくる。 ・漁業でも防潮堤、水門工事で河川の海への流入経路が変わり、生物相の変化で、養殖にも影響していると聞いている。防災面と産業面の整合性も「現場主義」で行ってほしい。 |
| どちらとも 言えない | 産業・経済・雇用関連 | 40歳台 | 沿岸南部 | 男 | 復興の工事が済んで、再建や新規で出店した事業者がある一方、まだ多くの人が仮設店舗で営業している。 |
| どちらとも 言えない | 産業・経済・雇用関連 | 50歳台 | 沿岸北部 | 男 | <ul style="list-style-type: none"> ・当地では震災により農業・水産業が被害を受けているが、施設の復旧工事等進み、生産体制は整いつつある。しかし、海産物・農産物とも風評被害（特に海産物）による売上減少の傾向は強く、まだまだ時間が必要と思われる。 ・その他の事業所等については、もとより高齢化や実質事業を行っていない等、震災廃業した所も多く、生業としての事業再開については見込めないことから、商店街の活性化等（新規事業創業促進）の対策が必要である。 |
| どちらとも 言えない | 産業・経済・雇用関連 | 50歳台 | 沿岸北部 | 男 | 漁業については、震災前と作業の方法に変化が感じられる。水産物の価格の低迷とともに、パートで働いてくれる方の確保ができなくなり（いろいろ雇用が増したため）漁業者がひとりで作業ができる仕事だけ選ぶようになった。収入を増やすより、経費を減らす方向へ進んでいる。被災地観光もひところのような活気は見られない。 |
| どちらとも 言えない | 産業・経済・雇用関連 | 40歳台 | 沿岸北部 | 女 | 土木・建築など復興にかかわる求人なども増え、明るいさを感じた時期もあったが、それらは復興のための一時的なものだと不安感が出始めているように感じる。 |
| どちらとも 言えない | 産業・経済・雇用関連 | 40歳台 | 沿岸北部 | 女 | 6次産業への参入や事業拡大など積極的な動きが見える反面、震災特需も薄くなり、厳しさを感じている事業所も少なくない。 |
| どちらとも 言えない | 産業・経済・雇用関連 | 39歳以下 | 沿岸北部 | 男 | 復興応援隊、復興支援員の認知度が上がり、「共に活動していこう」と起業なり事業を新規に取り組むケースが見られるのは良い傾向。 |
| どちらとも 言えない | 教育・福祉施設関連 | 50歳台 | 沿岸南部 | 男 | 仮設の商店が2度目の移転となり、その労力に計り知れないエネルギーを要しています。さらに、3度目の移転があるわけで、なかなか大変な状況にあります。 |
| どちらとも 言えない | 教育・福祉施設関連 | 50歳台 | 沿岸南部 | 女 | <ul style="list-style-type: none"> ・魚菜市場は、店の数が減り、自販機の並んだスペースができた。魚の種類や数も増えたとは思えない。 ・市内に昔からあった店が倒産した。経済にどれだけ影響があるのか？詳しいことはわからないが、不安が募る。 |
| どちらとも 言えない | 教育・福祉施設関連 | 50歳台 | 沿岸南部 | 女 | <ul style="list-style-type: none"> ・地元商店の再建はそこそこ見られるが、商店街と呼べるにはほど遠く、市外へ客足が逃げていく。 ・外国人労働者が増え、夜、一人で買い物する時、違和感がある。 |
| どちらとも 言えない | 教育・福祉施設関連 | 40歳台 | 沿岸南部 | 女 | 震災後、事業所や店を仮設店舗等で再開し、当初は賑わっている様子も見られたが、その景気が良い状態で続いているとは思われない。震災前とは違う新しい経営戦略を立て、成功しているところも少なからずあるようにも思える。 |
| どちらとも 言えない | 教育・福祉施設関連 | 40歳台 | 沿岸南部 | 女 | 一時期、仮設店舗など回復した様子もあったが、それ以後は、あまり変化していない気がする。 |
| どちらとも 言えない | 教育・福祉施設関連 | 40歳台 | 沿岸南部 | 女 | <ul style="list-style-type: none"> ・地元企業の求人数が増えている。 ・商業施設が仮設店舗から新しい店へと移ってきている。 |
| どちらとも 言えない | 教育・福祉施設関連 | 50歳台 | 沿岸北部 | 男 | 建設業については目に見えて活気があるように伝わるが、他の部分についてはよくわからない。 |
| どちらとも 言えない | 教育・福祉施設関連 | 50歳台 | 沿岸北部 | 女 | <p>（1）商店街等街中に活性化がみられない。業種によってバラつきがあるのかも（工事関係やホテル等観光客を相手にする業種は活性化がみられる。）</p> <p>（2）調査期間が6カ月に延長されたが、それでも、これという変化もなく、見る限りは進んでいない感じがする。（街中の活性化に向けた市民の議論が緒に就いたばかりで、今後の進展を注視したい。）</p> |
| どちらとも 言えない | 教育・福祉施設関連 | 40歳台 | 沿岸北部 | 女 | 目立った変化は感じられない。 |

| 区分 | 職業・所属等 | 年齢別 | 地域 | 性別 | 自由記載（理由） |
|------------|------------|-------|------|----|---|
| どちらとも言えない | 教育・福祉施設関連 | 40歳台 | 沿岸北部 | 女 | あまり変化は感じられません。 |
| あまり回復していない | 地域団体・郵便局関連 | 60歳以上 | 沿岸南部 | 男 | 地域の基幹産業である漁業の中心である漁業協同組合の海藻加工場が本年5月頃から本設稼働をスタートさせ、本格的な回復軌道に乗ったと思われる。また、観光産業では、宿泊施設が再建オープンに漕ぎ着け、6月頃から全館稼働に入っている。一方、商業・サービス業は、仮設店舗での営業が続いており、本設営業予定地の造成工事の完了を待っている状況である。しかしながら、休業者や廃業者も相当数おり、地区外に移転した工場の地元での再開は見込めず、震災前のような産業復興は、とうてい不可能ではないかと思われる。 |
| あまり回復していない | 地域団体・郵便局関連 | 40歳台 | 沿岸南部 | 男 | 土木や建設だけが変わらず好景気で、他の産業は… |
| あまり回復していない | 地域団体・郵便局関連 | 40歳台 | 沿岸南部 | 男 | 変わった様子がない。 |
| あまり回復していない | 産業・経済・雇用関連 | 50歳台 | 沿岸南部 | 男 | 主に水産業について回答 震災前の水準にまでは回復していないが進行はしている。 |
| あまり回復していない | 教育・福祉施設関連 | 39歳以下 | 沿岸南部 | 男 | 地域経済と一言で言われても、広い意味を持っているので、アンケートで答えられることではない。現状を考え、すべてが思い通りにいくとは思っていないが、今後、10年、20年先の未来につながる様な基盤づくりをお願いしたいです。衰退していくような町づくりは行ってほしくないと感じています。 |
| わからない | 教育・福祉施設関連 | 39歳以下 | 沿岸南部 | 女 | 職場では、看護師、介護士の人員不足、また職員の出入りが多かったりする。経済回復していなく、給料が安いためののか…よく分からない。 |
| 無回答 | 教育・福祉施設関連 | 40歳台 | 沿岸北部 | 女 | 港湾施設は操漁できるまでには復旧してきているが、漁業に関しては「人」が震災前に比べ不足。 |

Ⅲ 災害に強い安全なまちづくりに対する実感

災害に強い安全なまちづくりの達成度及び6ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

| 区分 | 職業・所属等 | 年齢別 | 地域 | 性別 | 自由記載（理由） |
|--------|------------|-------|------|----|---|
| 達成した | 地域団体・郵便局関連 | 60歳以上 | 沿岸南部 | 男 | ・防災集団移転地の整備も進んでおり、新築完成した世帯は順次仮設住宅からの引っ越しが進んでいる。又、復興公営住宅の建設も進んでおり、完成住宅への仮設住宅から引っ越しも進んでいる。 ・中心市街地に住んでいた市民は、土地区画整理事業（嵩上げ地）が遅れており、その対象市民の移転が進んでいないため、先行きの不安を抱えている人も多い。 ・自立再建希望の方々は、移転先の土地確保未定や、住宅ローンの借り入れの不確定の為不安を抱えている。 |
| 達成した | 地域団体・郵便局関連 | 60歳以上 | 沿岸北部 | 男 | 防潮堤等はほぼ完成し、避難施設も年内に完成する。 |
| やや達成した | 地域団体・郵便局関連 | 60歳以上 | 沿岸南部 | 男 | 防潮堤の整備が着実に進んでいるが早い完成を見たい。 |
| やや達成した | 地域団体・郵便局関連 | 60歳以上 | 沿岸南部 | 男 | 山田町中心地山田地区に、大きな城塞のような、堅固な防潮堤の建築工事が、目立ってきた。ただ海が見えなくなるのが、気に掛かる。最近、宮古市田老地区の「学ぶ防災」を見学した。最後に3.11東日本大震災の田老地区のビデオ上映を見た。高くて堅牢な防波堤に囲まれた街中の道路を、津波の襲来を気づかずに往来している車数台があった。やがて津波が防波堤を乗り越え、それらの車が飲み込まれていった。海の状況、津波襲来の状況がわかれば、逃げることもでき、犠牲者の数も少なかったであろうと思う。堅牢な防波堤を造ることか。海が見えて、直ぐ逃げれる避難路が充実されることか。判断に迷うところである。3ヵ月ごとの調査は、大変忙しかった。6ヵ月ごとの調査では、進捗状況の変動がわかりやすい。 |
| やや達成した | 地域団体・郵便局関連 | 60歳以上 | 沿岸南部 | 女 | 防潮堤、宅地の嵩上げ工事等が進んでおります。それぞれの現場でのダンブが忙しく動いております。災害公営住宅地も嵩上げが終わり、7月21日、町で地鎮祭が行われました。8月から着工とのこと。多くの方々の御苦労と御協力のもと、私共の町にも復興の光が見えてまいりました。 |
| やや達成した | 地域団体・郵便局関連 | 60歳以上 | 沿岸南部 | 男 | 防潮堤建設はやや遅れているが姿が見えてきた。二線堤である県道の整備は遅れている。 |
| やや達成した | 地域団体・郵便局関連 | 40歳台 | 沿岸南部 | 女 | 少しづつではあるが、安全なまちづくりになりつつある。 |
| やや達成した | 地域団体・郵便局関連 | 39歳以下 | 沿岸南部 | 女 | 高台移転の土地の造成も進み、堤防や太陽光発電の施設も建設が進んでいる。その様子を見ると、進んでいると感じる。まだ完成には時間がかかりそうなので「やや達成した」にしました。 |
| やや達成した | 地域団体・郵便局関連 | 39歳以下 | 沿岸南部 | 女 | 工事の様子がうかがえるが、防潮堤の完成にはもう少し時間がかかる。 |
| やや達成した | 地域団体・郵便局関連 | 40歳台 | 沿岸北部 | 男 | 防潮堤や復興道路の工事が進んでいる。 |
| やや達成した | 産業・経済・雇用関連 | 60歳以上 | 沿岸南部 | 男 | まだ未完成のところも多い事から達成したとは言い難い。 |
| やや達成した | 産業・経済・雇用関連 | 60歳以上 | 沿岸南部 | 女 | 一生懸命工事に頑張っています。 |
| やや達成した | 産業・経済・雇用関連 | 40歳台 | 沿岸南部 | 男 | 高台移転、復興道路の整備が進んでいる。 |
| やや達成した | 産業・経済・雇用関連 | 60歳以上 | 沿岸北部 | 男 | 野田村の復興住宅が次々と完成している。 |
| やや達成した | 産業・経済・雇用関連 | 50歳台 | 沿岸北部 | 男 | 防潮堤工事や土地区画整理事業等目に見える形で進んでおり、ハード面での備えはいいと思うが、高齢化が進み、せつかく避難道路が整備されても老人・子供等の避難サポートというソフト面をどう構築していくかが今後の課題と思われる。 |
| やや達成した | 産業・経済・雇用関連 | 50歳台 | 沿岸北部 | 男 | 防潮堤の建設が進んでいる。 |
| やや達成した | 産業・経済・雇用関連 | 50歳台 | 沿岸北部 | 男 | 防潮堤の工事が進まない。 |

| 区分 | 職業・所属等 | 年齢別 | 地域 | 性別 | 自由記載（理由） |
|-----------|------------|-------|------|----|--|
| やや達成した | 産業・経済・雇用関連 | 40歳台 | 沿岸北部 | 女 | 確実に目に見える形となってきた。完成見込みが近づくにつれ、建設業の方から復興工事完了後、仕事なくなるのではとの不安の声が聞こえる、という事は、進んでいるという事なのだと思う。 |
| やや達成した | 産業・経済・雇用関連 | 39歳以下 | 沿岸北部 | 男 | 目に見える部分ではゆっくりだが、着実に安全対策の整備は進んでいる。ただ、突然の豪雨や強風で、工事中の足場やコンパネが飛んだりして危険である。（なかなか防ぐのは難しいが） |
| やや達成した | 教育・福祉施設関連 | 40歳台 | 沿岸南部 | 女 | 嵩上げ工事等は、日々進んでいるように見える。 |
| やや達成した | 教育・福祉施設関連 | 39歳以下 | 沿岸南部 | 女 | 防潮堤の整備は着々と進んでいる。地元では高い所に道路が通った。また三陸道整備がすごく進んでいる。高台は、区画整理もして、もう少しでその高台に災害復興住宅が完成予定である。そう思うと、かなり進んだと思う。 |
| やや達成した | 教育・福祉施設関連 | 50歳台 | 沿岸北部 | 女 | 道路の整備、防潮堤の工事の進み具合がはっきりとわかるようになってきました。 |
| やや達成した | 教育・福祉施設関連 | 50歳台 | 沿岸北部 | 女 | 防潮堤の工事が進んでいるから。 |
| やや達成した | 教育・福祉施設関連 | 50歳台 | 沿岸北部 | 女 | 目で見る限りでの安全なまちづくりは着実に進んでいると思います。ハード面では、達成されつつありますが、ソフト面での取り組みは、ずっと継続させていくべきものと考えます。 |
| やや達成した | 教育・福祉施設関連 | 50歳台 | 沿岸北部 | 男 | 防潮堤等の整備が順調に進んでいる。 |
| やや達成した | 教育・福祉施設関連 | 40歳台 | 沿岸北部 | 女 | 通勤途中目にする地域で①防潮堤入口水門の工事が始まった。②住宅の高台移転地が完成し、住宅が建ち始めている。③復興道路建設工事があちこちで進んでいる。④防潮堤の工事が進んでいるため。 |
| どちらとも言えない | 地域団体・郵便局関連 | 50歳台 | 沿岸南部 | 女 | 防災・減災への必要性は良くわかっているが、行政がリードしていても、住民の動きは少なく意識も高くはない。生活の立て直しがまずなされた後の防災対策…という印象。 |
| どちらとも言えない | 地域団体・郵便局関連 | 60歳以上 | 沿岸南部 | 男 | 防潮堤の工事等の進捗状況が悪いような感じがする。 |
| どちらとも言えない | 地域団体・郵便局関連 | 40歳台 | 沿岸南部 | 男 | 災害に強いかどうか比べるならば、今の工事途中の状況は以前よりも弱いかもしれませんね。たしかに進み具合を見れば、はっきり判る程工事は進んでいます…。いずれにしても早期の完了が、震災前より強くなったと実感できるものと思います。 |
| どちらとも言えない | 地域団体・郵便局関連 | 39歳以下 | 沿岸南部 | 男 | 目に見えた形になってきていると思いますが、まだその過程であり、実感は強く感じてはいません。 |
| どちらとも言えない | 地域団体・郵便局関連 | 39歳以下 | 沿岸南部 | 男 | 防潮堤も作られつつあり、高さ等はだいぶ高いように感じるが、近頃の気象情報等を考慮すると、必ずしも安全といえるか疑問でもある。 |
| どちらとも言えない | 地域団体・郵便局関連 | 39歳以下 | 沿岸南部 | 男 | 防潮堤がないこと。 |
| どちらとも言えない | 地域団体・郵便局関連 | 39歳以下 | 沿岸南部 | 男 | ・防潮堤の整備は、進んできていると思う。 ・日中は良いが、夜間はまだ街灯も少なく、道路の舗装等もされていない所や、段差があったりするところがある。お年寄りの方などは、もし避難ということになると危ないと思う。こういった工事が後まわしにされないようにしてほしい。 |
| どちらとも言えない | 地域団体・郵便局関連 | 60歳以上 | 沿岸北部 | 男 | 防潮堤、三陸沿岸道路、避難路の整備などは、まだまだ工事半ばである。 |
| どちらとも言えない | 地域団体・郵便局関連 | 40歳台 | 沿岸北部 | 男 | 三陸道の工事は、目に見えて進んでいるように見える。 |
| どちらとも言えない | 産業・経済・雇用関連 | 50歳台 | 沿岸南部 | 男 | ・工事は進んでいる（土地の嵩上げ、防潮堤など）ものの、同じ津波が来たら被害がないと言えれば難しい。 ・ハード以外のソフト面も風化することなく、補充していく必要がある。 |

| 区分 | 職業・所属等 | 年齢別 | 地域 | 性別 | 自由記載（理由） |
|---------------|------------|-------|------|----|--|
| どちらとも 言えない | 産業・経済・雇用関連 | 50歳台 | 沿岸南部 | 男 | 工事は進んでいるようだが、道路が、大型の車が多いため穴やでこぼこで、昼はいいが、夜は暗くて、何かあったら危ないようだ。 |
| どちらとも 言えない | 産業・経済・雇用関連 | 40歳台 | 沿岸南部 | 女 | 道路整備が進んでいたり、防潮堤の工事も進んできたようです。まだまだ安全とは言えませんが、進み具合は見えるようになってきたように感じます。 |
| どちらとも 言えない | 産業・経済・雇用関連 | 40歳台 | 沿岸南部 | 男 | 防潮堤はまだできていないので達成度はないが、進んでいる様には見える。 |
| どちらとも 言えない | 産業・経済・雇用関連 | 39歳以下 | 沿岸南部 | 男 | 嵩上げ工事等が行われているが、これがどれくらい安全なのか分からない。数m盛土すると言われている土地に建物がある所があるが、その場所は低くなるのか、移転するのでしょうか。 |
| どちらとも 言えない | 産業・経済・雇用関連 | 50歳台 | 沿岸北部 | 男 | どこの工事も目立って進んでいると感じられない。震災後時間がたつにつれ、内容に少々疑問を感じる工事もあるように思える。地域の過疎化などこのまま進んでいく方向がよくわからない。 |
| どちらとも 言えない | 産業・経済・雇用関連 | 40歳台 | 沿岸北部 | 男 | 海辺の工場等施設や鉄道の一部に被害はあったが、すでに復旧しており、この6カ月間特段の進捗はない。ウニ等の種苗育成、放流も順調で、漁獲高も震災以前の状況まで回復している印象。 |
| どちらとも 言えない | 教育・福祉施設関連 | 50歳台 | 沿岸南部 | 男 | 最近続く小さな地震、又、津波避難警報等が何度か出された。それらの様子を見て人々の防災意識はだんだん高まってきたと感じる。あとは防潮堤などの整備を急ぎたい。 |
| どちらとも 言えない | 教育・福祉施設関連 | 50歳台 | 沿岸南部 | 女 | 道路の整備は順調に進んでいる様子がうかがわれます。しかし、合わせて、土地の高さを上げ、住宅を再建している様子を見ると“安全”なまちづくりになっているのかと考えると難しいものがあります。（土地がないから仕方ないのだろうが…） |
| どちらとも 言えない | 教育・福祉施設関連 | 50歳台 | 沿岸南部 | 男 | まだまだこれから…という状況です。日々、一步一步進んでいますが… |
| どちらとも 言えない | 教育・福祉施設関連 | 50歳台 | 沿岸南部 | 男 | <ul style="list-style-type: none"> ・嵩上げはかなり進んではいるが、堤防の工事がかなりかかっている。（通学路の関係） ・宮古道路の開通、鉄道の復旧が望まれる。 ・赤前地区の状況に変化が見られない。 |
| どちらとも 言えない | 教育・福祉施設関連 | 50歳台 | 沿岸南部 | 女 | 工事が進んでいる様子が感じられません。同じ景色を毎日見えています。 |
| どちらとも 言えない | 教育・福祉施設関連 | 40歳台 | 沿岸南部 | 男 | 防潮堤の工事が本格的になってきているものの、完成にはまだまだ遠いと感じているため。 |
| どちらとも 言えない | 教育・福祉施設関連 | 40歳台 | 沿岸南部 | 女 | 防潮堤工事がなかなか進んでいる様子がない。 |
| どちらとも 言えない | 教育・福祉施設関連 | 40歳台 | 沿岸南部 | 女 | 高い堤防の工事が着々と進んでいるが、本当にこれが必要なのか。疑問が残る。 |
| どちらとも 言えない | 教育・福祉施設関連 | 50歳台 | 沿岸北部 | 男 | 今、また大津波が来たらどうしようもないですが、（工事が完成していないので）防潮堤やそれに連なる工事が着々と進んでいて、1、2年後には、ハード面の整備が完了しそうで安心です。 |
| どちらとも 言えない | 教育・福祉施設関連 | 50歳台 | 沿岸北部 | 女 | <p>（1）防潮堤の嵩上げ工事や道路工事は順調に進んでいるように見える。一方、行政として住民の安全確保のため、早めの避難を促す等いろいろな対策を講じているが、住民の災害に対する意識変化は時間とともに顕著に表れてきている。</p> <p>（2）行政の対応としては、進んでいるように思われる。</p> |
| どちらとも 言えない | 教育・福祉施設関連 | 50歳台 | 沿岸北部 | 男 | 防潮堤も道路工事も現在進行形であり、まだまだ完成までには数年かかると思いますが、日々嵩上げされる盛土やトンネルの貫通ニュースには、一步一步新たなまちづくりが進んでいるんだと希望が持てます。 |
| どちらとも 言えない | 教育・福祉施設関連 | 50歳台 | 沿岸北部 | 女 | 防潮堤や新しい道路などの工事がどんどん進んでいる。 |
| どちらとも 言えない | 教育・福祉施設関連 | 40歳台 | 沿岸北部 | 女 | 防潮堤の工事も進んでいるが、完成するまでは達成できたとは言えませんので。でも、工事関係者の方々、毎日がんばって下さっています。 |

| 区分 | 職業・所属等 | 年齢別 | 地域 | 性別 | 自由記載（理由） |
|------------|------------|-------|------|----|--|
| あまり達成していない | 地域団体・郵便局関連 | 60歳以上 | 沿岸南部 | 男 | 防潮堤の工事の遅れは問題ではない。避難誘導看板等が不足していると思います。45号線を昼と夜、車で通って見て下さい。 |
| あまり達成していない | 地域団体・郵便局関連 | 60歳以上 | 沿岸南部 | 女 | 堤防はまだ2年位かかるので、まだまだ安全とは言えません。今、津波が来たら…と心配です。 |
| あまり達成していない | 地域団体・郵便局関連 | 60歳以上 | 沿岸南部 | 男 | 防潮堤の工事は、町内各地で進んでいます、まだ手つかずの地域もあり、一日も早い着工を願うもので、安心して生活したいと思います。 |
| あまり達成していない | 地域団体・郵便局関連 | 60歳以上 | 沿岸南部 | 男 | 防潮堤の工事が現在、盛んに行われている。津波前より高く、強固な防潮堤のような感じをうける。 |
| あまり達成していない | 地域団体・郵便局関連 | 60歳以上 | 沿岸南部 | 男 | 都市計画による土地区画整理事業の為の盛土工事や高台移転予定地の稜線掘削工事は自然に視線内に映りますが、それに伴う（中心市街地・産業集積地・公園・スポーツ施設）等々の活用計画案が猫の目の様で、住民感性からすると、戸惑い焦り、不安、挫折感が常に付き纏います。何故なら、それは住民・街を守る防潮堤の整備が進んでないからです。 |
| あまり達成していない | 地域団体・郵便局関連 | 60歳以上 | 沿岸南部 | 女 | ①防潮堤は、まだ工事すら始まっておらず（私の目からは）浸水区域には新築の家が建ち、地震のたびにハラハラしている。 ②仮設住宅暮らしは、まだ3年位は続くのではないかと思います。強風のため、風除室のドアが飛び、反対側の住宅の窓ガラス破損や、車のガラス破損、傷等で不安な日がある。やっと要望が通り、防風ネットの設置が始まった。これから少しは安心して暮らせます。 |
| あまり達成していない | 地域団体・郵便局関連 | 40歳台 | 沿岸南部 | 男 | 防潮堤の整備は広範囲にわたっているので、まだまだ整備が進んでいる実感がわかない状況です。大きく変化したという感じがまだしない。 |
| あまり達成していない | 地域団体・郵便局関連 | 40歳台 | 沿岸南部 | 男 | 一番大事な所だと思うが、あまり進んでいない。 |
| あまり達成していない | 地域団体・郵便局関連 | 39歳以下 | 沿岸北部 | 男 | 避難先の物資の備蓄も考えた方が良くと思う。小さな避難所（山の頂場や、小さな集落の）には、なにも無いから。 |
| あまり達成していない | 産業・経済・雇用関連 | 50歳台 | 沿岸南部 | 男 | 防潮堤の整備が遅れており、嵩上げ工事も途中なれば、まだまだ安全なまちづくりとは言えない。 |
| あまり達成していない | 産業・経済・雇用関連 | 50歳台 | 沿岸南部 | 男 | ・防潮堤は、まだ工事が行われていない。 ・岸壁の嵩上げ、道路工事をしているが漁業者の意見も聞いてほしい。 |
| あまり達成していない | 産業・経済・雇用関連 | 50歳台 | 沿岸南部 | 男 | ・水門が壊れた状態で、入札の話すら聞かなくてこない。 ・堤防の嵩上げが進んでいないように見える。 ・住宅地の嵩上げは行っているが、工期が延びている。 |
| あまり達成していない | 産業・経済・雇用関連 | 40歳台 | 沿岸南部 | 男 | 防潮堤工事も徐々に進んできている様に感じる。 |
| あまり達成していない | 教育・福祉施設関連 | 50歳台 | 沿岸南部 | 女 | ・6カ月前に比べ、工事がかなり進んでいる。 ・道路、トンネル、土盛り、病院や学校の建設等の工事が目に見えて進んでいる。 ・今は、その真っ最中なので、安全なまちになっている実感はない。もし、工事中にまた災害があったら…と思うと安心できない。 ・あとどのくらい時間がかかるのだろうか。 |
| あまり達成していない | 教育・福祉施設関連 | 50歳台 | 沿岸南部 | 男 | 土盛りをしている地域において、最近の土地の高さには日に日に驚かされている。ただ、土が落ち着くまで何年かかるのだろうか？ |
| あまり達成していない | 教育・福祉施設関連 | 50歳台 | 沿岸南部 | 女 | 確かに、目に見える形で道路ができつつある。複雑な道路となり、連休中は逆走する車にヒヤッとした。連休中は工事は休みなので、旗を持って交通整理する人もいなかった。 |
| あまり達成していない | 教育・福祉施設関連 | 50歳台 | 沿岸南部 | 女 | 大型ダンプなど工事車両が行きかい、嵩上げ工事は進んではいるが、「安全」の観点からは程遠い。 |
| あまり達成していない | 教育・福祉施設関連 | 39歳以下 | 沿岸南部 | 男 | 今さらですが、同じ規模の津波またはさらに大きい津波が来た場合、また壊れてしまうかと考えると、安全なまちに近付いているとは思えません。元通りのまちにすることが、災害に強く安全になるわけでは無いのはもちろんですが、住んでいた場所に戻りたい方々の意見も大切に、丁寧に進めたいと思います。 |
| あまり達成していない | 教育・福祉施設関連 | 60歳以上 | 沿岸北部 | 女 | 新しく区画整理され、競うように新築されているが、そもそもがはたしてここでのいいのだろうかと思われる場所もある。再び、あのような津波がくると同じことの繰り返しになるのではないかと。 |

| 区分 | 職業・所属等 | 年齢別 | 地域 | 性別 | 自由記載（理由） |
|---------|------------|-------|------|----|--|
| 達成していない | 地域団体・郵便局関連 | 60歳以上 | 沿岸南部 | 男 | 昨年8月時点では、動きが見えなかった防潮堤の第一線堤南側の復旧工事がようやく始まったが、北側の工事の動きは全く見えない。完成年度がいつになるのか、県からの説明は最近全くない状況が続いている。 |
| 達成していない | 地域団体・郵便局関連 | 50歳台 | 沿岸南部 | 男 | 防潮堤の工事が見える様になった。が、町内全域での完成にはほど遠い。 |
| 達成していない | 地域団体・郵便局関連 | 40歳台 | 沿岸南部 | 男 | 目に見える進捗状況ではない。 |
| 達成していない | 地域団体・郵便局関連 | 60歳以上 | 沿岸北部 | 男 | 防潮堤の嵩上げ等工事がかなり進んでいるが、完成しないことには災害があった場合に防ぐ事が出来ないので、まず避難することが一番だ。 |
| 達成していない | 地域団体・郵便局関連 | 50歳台 | 沿岸北部 | 女 | まだまだ堤防の工事が進んでいない。 |
| 達成していない | 地域団体・郵便局関連 | 40歳台 | 沿岸北部 | 男 | 復興道路も大切だとは思うが、その前に優先的にやる事があるのではないのでしょうか。住民の不安を解消するのが先ではないのでしょうか。 |
| 達成していない | 産業・経済・雇用関連 | 50歳台 | 沿岸南部 | 男 | 防潮堤もまだ完成しておらず、災害に強いまちづくりは特に進んだとは思えない。 |
| 達成していない | 産業・経済・雇用関連 | 50歳台 | 沿岸南部 | 男 | 市内の海岸線の防潮堤で少しずつ完成してきているので、そういうところでは進んでいるように見えるけど、まだ完成したわけではないので、1~2mの津波でもすぐ浸水する状態のところが多いので、津波にはまだ弱いと思う。気仙川沿いの道路や橋についても、まだ復旧していないので災害に対してはどうかと思う。 |
| 達成していない | 産業・経済・雇用関連 | 40歳台 | 沿岸南部 | 男 | 高台周辺の従前からの河川改修砂防、流路工等が古いままで、全然改修されないまま、震災復興事業が進められていくので、中規模災害でも不安である。「復興計画の防災部分」が完了する時期には、総合的にその機能が生きてくるのであろうが、その時期まではまだまだ「達成・進展」とは言えないと思う。 |
| 達成していない | 産業・経済・雇用関連 | 39歳以下 | 沿岸南部 | 男 | 水門が壊れたまま。 |
| 達成していない | 教育・福祉施設関連 | 40歳台 | 沿岸北部 | 女 | 整備中 |
| 無回答 | 産業・経済・雇用関連 | 40歳台 | 沿岸南部 | 女 | 働いている人の数とダンプの多さに、毎日御苦勞様と感謝の気持ちです。この暑い中復興に向けて、働いてくれています。 |
| 無回答 | 教育・福祉施設関連 | 39歳以下 | 沿岸南部 | 男 | 人手不足や資材の高騰不足は解消できたのでしょうか？東京オリンピックの開催に係る建設ラッシュが考えられ、復興は遅くなるものと考えています。少しでも早く、被災者、被災地域の生活が震災前のように戻ることを切に願います。 |

【自由記載集：掲載にあたって】

- ①回答者ご本人のご了解をいただいたもののみを掲載しています。
- ②自由記載(理由)は、表現も含め、原則として原文のまま掲載しています。
(一部、誤字・脱字等の修正や企業・団体・個人名の置換えなど、表現をあらためています。)

平成27年第2回いわて復興ウォッチャー調査 自由記載集

発行

平成27年9月15日
岩手県 復興局 復興推進課

〒020-8570
岩手県盛岡市内丸10-1
電話 019-629-6945